

(様式第4号)

## 上田市公立大学法人評価委員会 会議概要

1 審議会名	上田市公立大学法人評価委員会 (第8回)
2 日時	令和5年1月30日 午前9時30分から午前10時15分まで
3 会場	長野大学4号館3階 教授会室 (web会議併用)
4 出席者	田村秀委員長、鳥居希委員長職務代理人、城下徹委員、西牧敦子委員
5 市側出席者	大矢政策企画部長、北沢学園都市推進室長、堀内大学改革担当参事、中山大学改革担当政策幹、堀内学園都市推進担当係長、倉澤主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 3人 ※説明者として、公立大学法人長野大学関係者出席
8 会議概要作成年月日	令和5年 1月30日

協 議 事 項 等

1 開会
2 議事
(1) 公立大学法人長野大学 第2期中期計画(案)について
○資料1に基づき、事務局が説明
(No.1) SPARC 以外にも教育における文理融合の追加 意見なし
(No.23) 淡水生物学研究所を積極的に利用する旨の追加 意見なし
(No.32) グローカルのローカルの視点の追加 意見なし
(No.35、36) 勤務評点について 意見なし
(No.39) 人件費を含むの表現の再考 意見なし
(No.22、38) 研究資金の使い勝手の改善 意見なし
(No.44) 情報の透明性を高める取組の追加 委員より意見あり
(委員) 透明性の部分に関して、外部への情報公開や透明性、法的にも求められる部分に関しての透明性については書かれている。さらに、学内での情報の透明性も必要。それは、公開できる部分と、できない部分があるというのは、当然のことですが、必要なタイミングで説明、もしくは、説明以前に情報を公開する、情報の透明性を保つというの、様々なリスクを軽減するのに必要なことではないか。
(委員長) 大学の方は、いかがでしょうか。
(法人) 学内への周知の徹底が十分ではなかったとすれば、そういった意味での透明性は必要と考える。
(委員長) 委員、文言については、どうお考えでしょうか。文言を入れた方が良いなどの修正が必要でしょうか。
(委員) はい。これは提案という形です。内部に関しても、しっかり情報伝達と周知することを、一言入れるだけで、今、起きている問題に対して、大学は取り組んでいると、新たな中期計画に入れることによって、説明の説得力が増すということはあると思います。

(委員長) そうすると、No.44の方が良いですかね。

(委員) No.44の方が良いと思います。

(委員長) 「ホームページ等で速やかに開示する」というのは、学外に対する情報発信ですから、「開示するとともに、」と繋げる表現でどうでしょうか。

(委員) 良いと思います。

(委員長) 学内においても、情報の共有・伝達をしっかりとやっていきますということで「速やかに開示するとともに」を入れていただく。

(法人) 第8(1)「コンプライアンスの徹底に関する目標を達成するための措置」に、「適正な業務の確保と透明性を高めるため、内部監査室を設置する」と、ここに関係している。  
No.44に入れ込むのであれば、「学内外での透明性」というような形であれば構わない。

(委員長) No.47にもその機能があるとのことですが、見えづらい部分があるものですから、できれば、総論的なことはNo.44について、大学からお示しいただきたい。

(法人) No.44であれば、「開示するとともに、学内外に情報を適切に開示する」と表現したい。

(委員長) 委員、この表現でどうでしょうか。

(委員) 良いと思います。

(委員長) それでは、一言加えることにしたいと思います。それ以外で何か、お気づきの点はございますか。よろしければ、意見書の方に移ってもよろしいでしょうか。

(委員) 良い。

## (2) 公立大学法人長野大学 第2期中期計画(案)に対する意見書(案)について

(委員長) それでは、意見書について、説明をお願いします。

○資料4に基づき、事務局が説明

(委員長) 1点、意見書(案)の「次の」がどこを指しているのかわからないため、「以下の」ということで、下を書いてある要望事項のことが明確になると思う。「以下の方向性」と修正したいが、いかがでしょうか。

(事務局) 御指摘のとおり、変更したい。

(委員長) 次に※2ですが、「法人は上田市と緊密に連携」ではなく、「法人と上田市は緊密に連携」と修正しますが、よろしいでしょうか。

一言、申し上げますと、このような意見が出ている背景には、第三者から見ると、設置者である上田市と法人が十分に意思の疎通や調整や意見の交換が、しっかりとされているのかという指摘がある。

例えば、見込評価のことについての議論が反映されていないという声が上がっていること

はどういうことなのだろうか。その点も踏まえて、上田市と法人とで、しっかりと連携をする。

委員からもガバナンスの指摘が出ている訳ですから、やはり設置者と大学が定期的に事務レベルだけではなく、マネジメントレベルでも意見交換をやられてるかもしれませんが、そこが十分なのかという懸念から、意見が出ているところだと思います。

こういう意見が出ているということ、是非、重く受けて止めていただきたい。これは、これで良いでしょうか。

(委員) 意見なし

(委員長) ※3と※4のところは、項目の修正と文言の修正ということですが、よろしいでしょうか。

(委員) 意見なし

(委員長) ※5ですが、「体制の透明性」の表現としては、分かりにくい。指摘のとおり「運営の透明性」でいかがでしょうか。

(委員) 意見なし

(委員長) 次に※6、※7ですが、単なる数合わせではなく、優れた教員を確保することは重要。他方で、優れた教員の確保というのは、大変だろうなと思いつつ、そういう方向を目指すということであれば、良いかと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員) 意見なし

(委員長) 次に※8について、項目5を追加する趣旨は良くわかりますが、1点、表現について、「運用改善に関して、早急に検討し、具体的な措置を講じること」と変更してもよろしいでしょうか。

(委員) 意見なし

(委員長) それでは、中期計画(案)に、「学内外に情報を適切に開示する」ことを加えるということと、意見書(案)については、字句の修正ということで、よろしいでしょうか。

(委員) 意見なし

(委員長) 何回にも渡って、議論を重ねてきた訳ですので、各委員から一言ずつ、ご感想をお願いします。

(委員) この第2期中期計画で、重要な部分は、理工系の設置と研究所の位置関係を明確に出しながら結果を出していくこと。産業界(製造業や商工会議所等)も理工学部が大変期待している。実際には情報系の方向性の理工系学部ということであるが、地域としては理工系を期待しているので、その部分を見ていければと思う。中期計画にもしっかり記載しているので、期待したい。

(委員長) 企業側も理工系学部が出来ましたら、インターンシップ等で、様々地元の協力が必要となると思いますので、よろしくをお願いします。続いて、委員はどうでしょうか。

(委員) 皆さんが真剣にこの議案に関して、討論し、考えていることがよく分かりました。理工系については、外部資金の関係もありましたけれども、大学を存続させるために、もう少し、次回以降踏み込んで見せていただければと思います。

(委員長) 続いて、委員いかがでしょうか。

(委員) ガバナンスが重要なポイント。開かれた大学であって、更にガバナンスがしっかりしているというのは、学生や教員にも重要なこと。企業も理念を掲げてこれに向けてしっかり行っているのかは厳しく見られる。大学も同じ状況にあると思いますので、第2期中期計画が認可されたら、計画を学内で共有されて、そこからつくってもらいたい。

(委員長) 次の6年間は理工系学部の設置を含めての改組が正念場になるので、前向きにとらえて、大学を良い方向に変えていただきたい。

設置団体と設置者のそれぞれの意思疎通、情報交換をもっとしっかり行っていただきたい。他大学の事例を参考としながら、車の両輪として、大学を良いものにしてもらいたい。

次年度の志願者数を見ると、全国的な感じとして国公立だからといって、安泰してられない。18歳人口が減っていくなかで、長野大学が学生から選ばれる大学として、地域に根ざし、グローバルの感覚をしっかり涵養しながら、魅力のある大学になって、計画の途中でも、柔軟にやっついていかないと大学運営が厳しくなってしまう。

上田市の公立大学として、地域に根差しかつ全国・世界に羽ばたく人材を育ててほしい。それには研究力の強化も重要で、研究力が無い大学は、じりじりと評価が下がるので、財政的な制約もあるかと思いますが、弾力的な大学運営に努めてほしい。

### 3 その他

- ・今後の進め方について
- ・来年度の開催予定について

事務局から説明

### 4 閉会